

# 野心的意欲

10月15日、世界一を目指す「孫正義」氏に、実質10日間で邦銀の「みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行」のメガバンク三行が史上最大規模、一兆五千億円余の対米戦略的買収の巨額融資を決定した。

お金の主流は先行し日経平均は9千円台に復調基調です。明らかに為替実態を反映していない円高を逆手に取った反撃開始を語り結果、円の脅威を映し出したものです。

しかし地方はこれから地獄の釜が開き、貸し剥がし再開の動き？。護送船団でしか経営ができない地方金融機関は、結果的に弱いものを食い物にします。

暴利と言えぬ金利で且つ保証人を求め、貸した責任を転嫁し放棄する醜い金融業界に見えて来る。結果が全てです。明らかに金融機関が悲劇を助長し拡大しています。

諸悪は「昔サラ金」「今銀行（信用金庫）」？。その元締めが財務省です。我々庶民は預金引き揚げに店に並ぶことしか対抗できないでしょう。日本のいじめ構造は弱者に向かいます。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2012年10月22日 (月) NO. 274

地域から明るい未来を作ろう

強者に立ち向かえないのです。欲から離れれば、権力と金持ちはその強さには強くないのです。

ソフトバンクの決断と実行力は、未来（未知）に対し、確信を持つかの違いです。今イケイケのバブル期ではない。企業の社会的責任と意味を、歴史的に自覚しているのだと思います。指揮官の屑、嘘つき総理との決定的違いは、「志」の違い。「土の心」でしょうか。

## 勝負の世界

自分を振り返り、心の真髓からワクワクしたことがこれまで何回あったか思い出せませう。生きてきた証明です。

一日一回でも毎日がドキドキ、わくわく、ときめきは、充実した最高の人生だと思います。

このために健康は欠かせません。そして、どん底、修羅場を経験していれば、精神が鍛えら

事業に共通しますが自分が主導権を取っていれば、相手に対して寛大にも過酷にも成りうるが、逆であれば、相手に自分をゆだねておかなければならない。

真剣の勝負では一回の勝負に敗れることは、その場で殺されることを意味します。挽回のチャンスは二度とありません。

したがって先手必勝です。勝負に勝つために、先の先を取る方法論を体得する必要があります。事業や仕事は道理にかなう戦い、シンプルイズベストです。

考え方としての主導権です。スランプから学び、失敗をいかに利用するかで、運の強さは幸運の回数です。勝った回数です。負けるのは、自然の理から外れ、自ら原因を作り致命的ミスを犯しているのです。

勝負の世界では、刻み込んだすべての体験に勝るものはない。

勝ち方に内容がある。温情は勝負の世界では禁句。徹底的に打ちのめし一直線に押しつぶすことが大切です。

中途半端な戦いに終わらすぐらいなら、戦わないほうがいいのです。

自分を振り返り、心の真髓からワクワクしたことがこれまで何回あったか思い出せませう。生きてきた証明です。

たが主役です。またすべてゲームの基本はフタープレーです。勝つため手段を扱はずは、日本人の美意識に全くなじまないものです。

## なんなんなん

す。方向や理に反していない限り、必ず成功するものです。人生はゲーム。シエークスピアは舞台だとも言っています。あな

の時点で敗北していたのです。日本には、滅びにも美学があります。

